

黒沢年雄さん講演会

苦しみ、悲しみ乗り越え 知恵と笑いで楽しい人生

歌手・俳優の黒沢年雄さんが、仙台市内で開かれた「2016いきいきシニア初春のつどい」で「人生プラス思考で」と題して講演。トレードマークの帽子をかぶった黒沢さんが登場すると、会場からは大きな拍手が湧き起こった。野球に明け暮れた小・中学、高校時代、仕事を掛け持ちして映画俳優を目指していた青春時代、そして俳優になり、がんを患ったこと。自身のさまざまな経験を踏まえ、楽しい生き方を提案した。（5面に関連記事）



「人生を振り返ると、最終的には自分次第」と語る黒沢さん

人生ってというのは本当に楽しいですね。この世に生まれて、本当に良かった。2月で72歳ですが、自分の年齢を考えたことはありません。

だいたい、普通だったら落ち込みますよ。がんを7回やっていますから。最初は42歳の時で大腸がんです。この時は本当に泣きました。死ぬのかと。家を建てたばかりだし、子どもはまだ中学生だし。人生これで終わりかと。

しかし、開き直ったら怖くない。大腸がんの手術後に、ぼつこつがんになりまし。食道がんは手術を3回。その後、胃がんが見つかって、胃を3分の1取りました。また最近、ぼつこつがんがちよつとできました。

なぜ開き直れたか。教養はない、境遇は悪い、育ちは悪い。それでも今も芸能界で生き、ある程度の収入があり、こんな素晴らしい人生はない。後悔がない。いつ死んでも構わない。

ただ、初めてがんになった人は怖いですがね、苦しいですよ。しかし考え方一つで「怖い」「苦しい」が楽しくなるんです。

「やればできる」子

僕は小学校の担任の先生が大好きでした。野球ばかりして、勉強はほとんどしなくて、先生によく叱られました。でもうれしかったです。先生はこう言ったのです。「黒沢君、あなたはクラスの人気者でしょ。それなのにいたればできるのよ」って。



緩急のあるトークで1時間半はあっという間

この「やればできるのよ」という言葉が、僕の頭の中にインプットされ、とりあえずやってみる子になりました。単純ですね。中学でも野球をし、高校ではプロ野球選手を目指していました。当時の野球部の練習は厳しかった。殴られる、蹴つ飛ばされる。僕にとつてはい経験。社会に出て、あれほどの苦しい思いをしたことがない。高校での練習を思い出したら、何とも思わない。

不良少年から俳優へ

おふくろはがんを患い、40歳でこの世を去りました。うちは4人兄弟で、僕が16歳、弟が14歳、12歳、10歳でした。間もなく僕は不良少年の仲間に入り、悪いことばかりやって。犯罪者になる手前で、ミンシンの音が聞こえ、おふくろの「年雄、頼むよ」という声が聞こえました。それで夢のある仕事をしよう、映画俳優を目指しました。映画俳優になつてから役に立つだろうと、車のセールス、キャバレーのボーイ、バーのバーテン…2年半で30以上の仕事をしました。新聞で見つけた東宝を受け、2次、3次試験に合格。まさかの最終審査

です。何とか受かりたいと思ひ、当日は遅れて行くことにしました。そうすれば目立つだろうと。人生で一番大事なものは知恵。知恵は学校では教えてくれません。つらい思いや嫌な思いをクリアすると知恵が生まれる。勉強はできなかったけど、知恵はあつた。

そして一世一代の大芝居。審査員に「遅れて申し訳ありません」と頭を下げ、仕事を掛け持ちしている話、おふくろが40歳で亡くなった話などいろいろしました。最後に「もし僕を採らなかつたら、映画界の損失になります」と言いました。

そうしたら受かつた。世の中にはあり得ないことがあるんです。運。そのころ、東宝は黒沢明の大ファンだったんです。「黒沢年雄？ 黒沢明の子どもか？」って、1次審査からみんなが騒いでいたそうです。挙げ句、僕は目立つ行動をした。「面白い」って受かつたんです。不思議でしょ、人生は分からない。だから諦めちゃいけない。諦めた瞬間に夢は壊れます。思い続けることが大事。

「ははははっ！」

芸能界に入つて、最初は仕事がありませんでした。ぼつん、ぼつんって

役がついても、まだ食えない。ある日、森繁久彌さんの秘書役に抜てきされたんです。かわいかられました。僕には知恵があつたから。森繁さんにかつ言われました。「黒沢、お前はスターになれないと思うけど、スターになったら30歳までに金は全部使っちゃえ。何をやつてもいい。使いましたよ。若いころは「飲む、使う」が常識。今でも「飲む、使う」をやつていますが、飲むのは薬。大変ですよ（笑）。

この講演は「いきいきシニア」だから、シニアに笑ってもらえることを話さない。あと30年も生きないでしょ。だから僕は思つんです。毎日笑つて楽しく。笑えば笑うほど元気になるんです。ははははっ！ やつてください、せーのっ！（会場は大合唱）。寿命が10年延びましたよ。今笑わなかつた人いますね。ご愁傷さまでした（会場爆笑）。

今日帰る時、皆さんはスキップしているはずですよ。10分でもいいから大股で、息が切れるように歩いてください。これが健康にいいんです。でも、信号無視は駄目ですよ。今日は僕にとつて素晴らしい一日でした。ありがとうございました。



講演終了後、ファンから花束をもらい記念撮影